

『こども食堂』はこどもの居場所!

こども食堂は、ひとり親家庭や共働き世帯など様々な理由によって一人で食事をするこどもたちへ、無料または低額で食事を提供し、子育てを支援する場所です。

こどもたちが集まって楽しく食事をしながら、地域のこどもとボランティアがつながる場となっています。

現在は新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、休止しているこども食堂が多くありますが、「フードパントリー」という形に変えて、こどもの居場所づくりに取り組む食堂が増えています。



「フードパントリー」って?

経済的に苦しい家庭などへの支援を目的に食料品を提供する活動のことです。所沢市では、こどもの居場所の拠点となる地域のこども食堂などを通して届けています。

何を届けるの?

地元飲食店から購入したお弁当やレトルトなどの調理の必要のない食料品を届けています。『所沢市愛の福祉基金』を財源として活用しています。

また、地域のボランティアや福祉団体のみなさまからも、食料品のご寄付をいただいています。

どこで届けているの?

こども食堂やボランティア団体と連携し、現在は、山口地区、所沢地区、並木地区の市内4か所で配布を行っています。また、「あったかサポートセンター」で受付を行っている緊急小口特例貸付の相談を受けて、必要な世帯へも届けています。

今後の取り組み

身近な場所で受け取れるよう開催場所の拡大を行っていきますので、ご協力いただける団体がございましたらご連絡ください。

また、利用をご希望の方やこども食堂の開設場所については、個別にご相談ください。

「こども食堂」を通じた 笑

～この取り組みは地域ボランティア、

更生保護女性会のみなさん



地域のみなさまからの食料品の寄付



寄付

食料品配布の場合

Super Market



レトルト食品・缶詰
パックご飯 等



購入

所沢社協

お弁当配布の場合

地元の飲食店



購入

所沢社協

所沢社協



受け渡し

CSW



『所沢市愛の福祉基金』を財源として活用しています。地域福祉を推進するため、地域のみなさまからいただいた寄付です。



『山口地区のこども食堂』

代表Kさん



私たちは、ひとり親家庭など苦労のあるご家庭を対象に、非公開でこどもの居場所づくりとしてこども食堂を続けてきましたが、コロナ禍で集まることができなくなりました。そこで築いた繋がりを守っていくため、フードパントリーを行うことにしました。

私たちの活動は微力であっても「一人ではないですよ。応援しています。」の思いで食料品配布をしています。お届けに訪問するたび、「食品を無料でいただけて、本当に助かっています。」「いつも気にかけてくれてありがとうございます。」と、喜ばれていて、こどもの近況を伺う機会にもなっています。

フードパントリーは、私たち地域とご家庭をつなぐ役割となっています。この活動の広がりを心から願っています。

生活にお困りの方へ ～「所沢市あったかサポートセンター」にご相談ください～

「収入が少ない」「仕事が見つからない」「公共料金等を滞納している」「食べる物が無い」「ひきこもり」など、お困りごとがある方は、一人で悩まずご相談ください。

また、本人だけでなくご家族や周囲の人からの相談にも応じています。

～新型コロナウイルスの影響で生活にお困りの方へ～

新型コロナウイルスの影響による収入の減少があった方を対象に受けられる制度があります。

緊急小口資金

総合支援資金

住居確保給付金

など

※手続き方法等が変わることがあります。詳細については本会HP (<http://www.toko-shakyo.or.jp/>) をご覧ください。

フードドライブによる食料品の提供を行っています

住民や地域の企業・関係機関から食料品などのご寄付をいただき、生活にお困りの方へ食料品の提供を行っています。



【問い合わせ】所沢市あったかサポートセンター

開所時間：9:00～18:00（土・日・祝・年末年始を除く）

場 所：所沢市こどもと福祉の未来館1階（福祉の相談窓口内）

T E L : 04 - 2968 - 3960 F A X : 04 - 2923 - 4780

メール：3960s@toko-shakyo.or.jp

顔でごはんフードパントリー

地元企業と協力しながら進めます～

- 取り組みのイメージ図 -



【問い合わせ】地域福祉推進課

TEL:04-2925-0041 FAX:04-2925-3419 メール:0041m@toko-shakyo.or.jp

想いがつながるご寄付 『子ども未来基金』

「子ども食堂の活動を支援したい」という想いをお持ちのみなさま、ご寄付を通じて一緒に想いを実現しませんか？

まずは下記までご相談ください。

※お問い合わせの際は、「社協だより」を見たとお伝えください。



【問い合わせ】企画総務課

TEL:04-2926-8202 FAX:04-2925-3419

メール:8202t@toko-shakyo.or.jp

子ども食堂でもCSW(コミュニティソーシャルワーカー)が活動しています

フードパントリーを通じて、CSWが困りごとをお聞きし、必要に応じて、関係機関と協力して適切な福祉支援に繋がっています。

CSWは、困りごとや生きづらさを抱える方に寄り添いながら、困りごとの解決に向けて一緒に進んでいく『伴走者』です。



多世代が集える
居場所を応援します。



CSWは様々な関係機関や住民と連携しながら、不登校の子どもや、障がいや生きづらさを抱える方など、誰でも参加できる場づくりを支援しています。



～CSW実践報告会～

コミュニティソーシャルワーク★ラボを開催しました!

今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、Youtubeを活用したライブ配信で実施しました。令和元年度の活動をまとめた「CSW活動報告書」の内容についての説明や、事例の発表を行い、所沢市地域福祉活動推進会議委員長の田中英樹氏から総評をいただきました。

「コミュニティソーシャルワーク★ラボ」は、Youtubeにて録画を配信しています。ぜひ、ご覧ください。

視聴方法

Youtube

「所沢社協ボランティアセンター」
チャンネルへアクセス

https://www.youtube.com/channel/UCGobqf1YOYMy_wkiYYnUXxA



令和元年度CSW活動報告書はホームページ事業案内「コミュニティソーシャルワーカーについて」からダウンロードできます!



会長からのメッセージ

新年あけましておめでとうございます。

昨年中はひとかたならぬご厚情をいただきありがとうございます。

緊急事態宣言に伴い、多くの方々の生活が急変し、混乱が生じました。所沢社協でも、収入が減少した方を対象として生活福祉資金の特例貸付の受付を行い、埼玉県社協とともに貸付事業を実施してまいりました。

こうした中、所沢社協では「コロナ対応困窮支援事業」として、これまでに皆様から頂いたご寄付を積み立てた基金を活用し、新規事業として「フードパントリー

事業」や「緊急援護金の増額」などを実施しています。

また市内では、コロナ禍による「新しい生活様式」を取り入れながら、これまでに築き上げたつながりを絶やさないう工夫を凝らした活動が広がっています。所沢社協と致しましても、地域の皆様と共に、新しい支え合い、新しいつながり方を考え、実践してまいりますので、ご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。



所沢市社会福祉協議会
会長 本橋 栄三

所沢市災害ボランティアセンターとは



所沢市内で災害が発生し、被災者の救援等のためボランティアの支援が必要とされる場合、「所沢市地域防災計画」に基づき、所沢社協が設置する臨時のボランティアセンターです。

2016年8月の台風9号によって市内の一部で水害が発生した際に、甚大な被害を受けた世帯を対象に災害ボランティアセンターを立ち上げ、住民の協力を得ながら運営しました。

「災害ボランティアセンター」では、所沢市の他、市内外の関係機関・団体と連携、協力してボランティア活動に取り組みます。



床上浸水後、ボランティアと片付けをしている様子



片付け後

所沢市災害ボランティアセンター活動実績

開設期間	2016年8月23日(火)～8月30日(火)※8日間
設置場所	旧庁舎1階
被災された世帯からのボランティア派遣依頼件数	26件(主な内容)泥の除去・畳あげ・家具の移動・ゴミ出し・室内掃除・土のうづくり など
活動したボランティア数	延べ54名(実人数32名)

実地訓練の様子

有事に備えた実地訓練

被災者支援がスムーズに行えるよう、設置マニュアルに沿って災害ボランティアセンターの運営訓練を行っています。

実地訓練を行う際にも、多くの市民スタッフに参加していただいています。

ボランティア受付班



◆ボランティア活動希望者の受付、活動終了報告の確認、ボランティア保険の受付を行う

ニーズ班



◆被災者からのニーズ(ボランティア要請)の受付を行う

資材班



◆資材の管理、ボランティアに必要な資材の貸し出しを行い、活動終了後は資材の洗浄・除菌をする

マッチング・送り出し班



◆活動希望者とニーズ(ボランティア要請)をマッチングし(つなげ)、活動先への送り出しを行う

本部・広報班



◆全体の進行管理、各班の連絡調整・取りまとめ、各種情報の発信を行う
◆災害ボランティアの募集や支援状況などについての広報を行う

～知っ得豆知識～

1月17日は防災とボランティアの日!

防災とボランティアの日は、1995年1月17日に発生した阪神・淡路大震災にちなんで制定された日です。

阪神・淡路大震災では、多くのボランティアが活躍し、「日本のボランティア元年」と言われました。

また、防災とボランティア週間は1月15日～1月21日までとされており、どちらも災害への備えの充実強化を図ることを目的に設けられています。



災害ボランティアセンター市民スタッフ養成講座を開催します



災害ボランティアセンター市民スタッフとは？

市内で大きな災害が発生した際、ボランティアに関する多くの相談に対応するためには、関係機関や住民の方々のご協力が必要不可欠となります。市民スタッフは、このような事態に備えて、災害発生時、迅速かつ効果的に救援活動を行えるよう、センターの運営補助をするボランティアです。



所沢市内で大規模災害が発生した際に「所沢市災害ボランティアセンター」の運営スタッフとして活動を行うボランティアの養成講座を開催します。(市民スタッフは、災害ボランティアセンター内での運営補助を行います。)

日時	令和3年1月23日(土) 10:00～16:30
場所	所沢市子どもと福祉の未来館 1階 多目的室1・2号、体育館
内容	(1) 講義「災害ボランティアセンターの役割について」 (2) 実践演習「災害ボランティアセンター実地訓練」
対象	市内在住・在勤・在学の20歳以上の方 ※受講後に災害ボランティアセンター市民スタッフとして登録していただきます。
参加費	無料
定員	20名 (定員になり次第締切り)

【申込み・問い合わせ】

地域福祉推進課

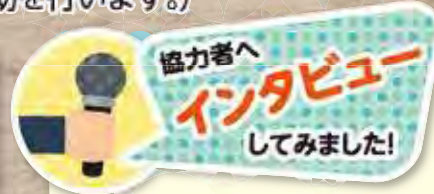
TEL:04-2925-0041

FAX:04-2925-3419

メール:0041m@toko-shakyo.or.jp



昨年度の講義の様子



2016年台風9号で市民スタッフとして活動しました

市民スタッフの芳澤さん



私が参加したのは立ち上げから4日後。既に被災された方からの要望は落ち着いており、センターも閉所に向かって動いていました。

具体的な活動としては「受付」、「資器材の貸し出し」、「送り出し」、そして、「消毒の準備等」を行い、災害ボランティアや毎年参加している実地訓練の経験から、戸惑うような場面はほとんどありませんでした。

被災者への支援がいかに迅速に安全に行われるかは、センターの運営にかかっていると、これまでの災害ボランティアの経験から強く思うようになりました。

センター運営の充実のためにも、市民スタッフの仲間がさらに増えることを願っています。



災害ボランティアセンター実地訓練でお世話になった

滝本 栄 氏からのコメント

(茨城県社会福祉協議会 防災活動アドバイザー)

私の勤務先であった常総市は、平成27年9月の関東・東北豪雨によって甚大な被害を受けました。私は、その際に立ち上げた災害ボランティアセンターでの運営経験を基に、平成30年度から3度にわたり所沢社協主催の災害ボランティアセンター市民スタッフ養成講座と実地訓練の講師を引き受けてきました。

訓練に参加された方々全員が実際の災害を想定して、真剣に取り組まれていたのが印象的で、演習後の振り返りを行い、しっかりと次に活かすことで、訓練を重ねるごとに運営が円滑になっている

と感じました。

近年では毎年のように大規模災害が発生し、多くの災害ボランティアが、一日でも早い復旧を願い被災地で活動されています。

過去の被災から学び、災害ボランティアセンターへの運営方法も時と共に変化しています。そしてコロナ禍の中、ボランティアの受け入れ方を大きく見直さなければならなくなっています。

これからも、所沢社協と地域住民が一体となって訓練を重ね、「まさか」の災害に備えていただくようご祈念いたします。

災害時に備えて

『所沢市愛の福祉基金』を活用しています。

所沢市愛の福祉基金は、寄付者からいただいた寄付で積み立てた基金を、ボランティア推進事業や成年後見事業に活用しています。

今回は「笑顔でごはんフードパントリー」への活用のほか、コロナ禍での災害に備えるため、所沢市愛の福祉基金の取り崩しを行い、アルコールスプレーや除菌シート、フェイスシールドなどを整備しました。



所沢青年会議所と「災害時における協力に関する協定書」を締結しました

所沢社協は、災害ボランティアセンターの運営や災害救援などのボランティア活動支援において、効率的・効果的な支援活動を行うため、「災害時における協力に関する協定書」を締結しました。

協定内容としては、災害ボランティアセンターの運営や、被災地の情報収集、災害ボランティ

アセンター及びボランティア活動に必要な資機材の調達への協力などを盛り込んでいます。

所沢青年会議所では、被災地へ義援金や物資の支援、復興ボランティア派遣など、日頃から災害時の支援活動を行っています。



こんにちは！ ボランティアセンターです☆

たくさんのこどもが

ふくしについて学んでいます



市内の小中学校では「総合的な学習の時間」などを活用し、福祉に関する学習が取り組まれています。ボランティアセンターでは、ご相談のあった学校への職員派遣や講師調整、備品貸し出しなどを通して、「ふくし学習」の推進を行っています。

「ふくし学習」では、福祉が高齢者や障がい者などの特定の人のことを指す言葉ではなく、共に支えあう「ふだんのくらしのしあわせ」であると話しています。

“こどもの生きる力”を育てる”

学校現場では、児童・生徒の置かれた様々な環境の中で、「生きる力」の育成が期待されています。そのため、ふくし学習では、技術や知識を覚えるだけでなく、「生きること」や「いのち」、「障がい」、「老い」について考えてもらい、「共に学び、共に生き、共に育つ心を育む」時間にしていただいています。

“ふくしのまちづくり”

地域住民や地域の福祉施設、企業などと連携・協働しながら「ふくし学習」を進めることで、地域のみならず子どもたちを育み、相互作用による“ふくしのまちづくり”を目指しています。

例えば



ふくしが身近な生活の中にあることを学びます。



聴覚障がいの当事者から、その生活についてお聞きし、手話を学びます。



グループに分かれ、カードに書かれた内容を見て相互に助け合いができるように意見を出し合い、支え合いについて学びます。



自治会町内会、民生委員・児童委員、母子愛育班、長生クラブ、地域福祉サポーター、地域ボランティアなどのみなさんにご協力をいただき、地域の活動を学びます。



認知症の方の気持ちや認知症の方への対応方法を学びます。自分のできる範囲で認知症の方やその家族を応援する認知症サポーターとなっていただいています。

ふくしとは
ふだんの
くらしの
しあわせ

感想

～「ふくし学習」を受けてみて～

◇私の周りにいるたくさんの人に支えられているのだなと気づきました。これが幸せなことだと心温かくホッコリしました。

(中学1年生)

◇今まで、福祉は大人とかにしか関係がないのかと思っていたので、自分にも関係があると知ってびっくりしました。

(中学3年生)

※今年度は、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、マスクやフェイスシールド、パーテーションなどを活用して実施しています。

「認知症サポーター養成講座」を開催しませんか？

会社や地域の集まりなどに、無料で出張講座を行います！



認知症サポーター養成講座とは？

地域や職域団体、家庭教育学級、児童生徒等が、認知症に関する正しい知識や、認知症の方への対応の仕方などについて学習できる住民講座・ミニ学習会のことを「認知症サポーター養成講座」と呼びます。

認知症サポーターは「なにか特別なことをする人」ではありません。講座を通じて認知症についての正しい知識を習得し、自分のできる範囲で認知症の人や家族を応援するのが認知症サポーターです。



講座を修了すると、認知症を支援するサポーターの「目印」として、オレンジ色のプレスレット「オレンジリング」をお渡しします。



【問い合わせ】地域福祉推進課 所沢市認知症サポーター養成事業 事務局

TEL: 04-2925-0041 FAX: 04-2925-3419

メール: 0041m@toko-shakyo.or.jp

令和2年度は夏ボラじゃなくて、冬ボラ講座！ 気軽に参加しませんか？

冬のボランティア体験講座in所沢

ボランティア活動に興味はあるものの、「どうやって始めればいいのか、どんなものがあるのか分からない」「自分にできることがあったらやってみたいけれど…」など、これまでボランティアを始める機会が無かった方、ぜひご参加ください！



日 時: A日程: 令和3年1月16日(土) 13:00～16:00
B日程: 令和3年2月20日(土) 13:00～16:00

会 場: 所沢市こどもと福祉の未来館 多目的室1・2号(所沢市泉町1861-1)

対 象: ボランティア活動に関心のある所沢市在住・在学・在勤の小学4年生以上(18歳以下の方は保護者の同意が必要)

定 員: 各日30名

申込方法: 電話・FAX・メールにて申込み

申込期間: 定員になり次第締め切り

※⑤のみ、A日程とB日程で内容が異なります。

プログラム

	A日程: 1/16(土)	B日程: 2/20(土)
①	ミニ講座「ボランティア活動とは」	① ミニ講座「ボランティア活動とは」
②	絵手紙メッセージを送ろう	② 絵手紙メッセージを送ろう
③	初めての車いす、乗ってみよう・押してみよう	③ 初めての車いす、乗ってみよう・押してみよう
④	バリアフリーを探そう(未来館内探検)	④ バリアフリーを探そう(未来館内探検)
⑤	ポッチャを体験してみよう	⑤ 点字を体験してみよう
⑥	振り返り	⑥ 振り返り

ボランティアや福祉に関する情報配信を行っています！ ご登録をお願いします！！

ボランティアセンターでは、市内のボランティア募集情報、福祉に関する講座や地域のイベント情報を随時配信しています。ご関心のある方は、ぜひご登録ください。

LINE

LINEへの登録方法

- ①右のQRコードを読み取る⇒ともだち追加
- ②LINEアプリ内で「@bjj6661j」を検索⇒ともだち追加



メール

メール配信への登録方法

- tokoshakyo-vcinfo@fl20.asp.cuenote.jp
- ①上記メールアドレス宛に空メールを送信
 - ②返信メールに記載されているURLにアクセス
 - ③登録フォームで必要な情報を入力⇒登録完了
- ※一部対応していない機種もございますので、ご了承ください。



YouTube

所沢社協ボランティアセンター

YouTubeチャンネルを開設しました！

ぜひチャンネル登録をよろしくお願いします。

YouTubeチャンネルを視聴するには…

- ①右記QRコードを読み取る
- ②YouTube内で「所沢社協ボランティアセンター」で検索

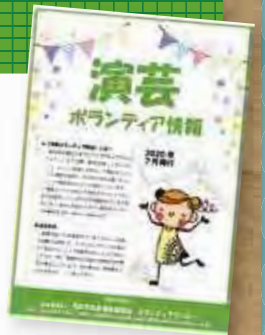


演芸ボランティア

福祉関係施設やボランティアグループからの「イベントをする際、是非出演してもらいたい！」というご要望にお応えして所沢市の演芸ボランティアの情報を発信しています。

所沢市の市民活動・ボランティアの輪を広げることを目的として、演芸ボランティア情報(冊子)を作成しています。冊子は窓口での配布とホームページからダウンロードしてご覧になれます。

※掲載されている他にも演芸ボランティアさんをご存知でしたら、ぜひお知らせください。皆さんの協力でさらに演芸ボランティアの輪を広げていきたいと思っております！



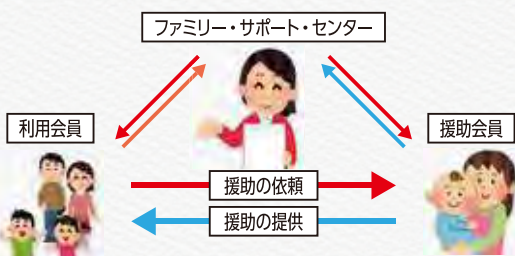
【問い合わせ】ボランティアセンター

TEL: 04-2925-0041 FAX: 04-2925-3419 メール: 0041m@toko-shakyo.or.jp

所沢市ファミリー・サポート・センターをご利用ください。

安心して子育てができる地域の環境づくりを進めるために、育児の支援を受けたい方(利用会員)に、育児支援をしたい方(援助会員)を会員制の相互援助活動として紹介しております。

利用会員、援助会員ともにあらかじめ登録が必要となります。子育て中で支援をお願いしたい方、子育て家庭の支援ができる方はファミリー・サポート・センターへご連絡ください。



主な活動内容

- 【預かり】原則、援助会員宅でおこないます
- ◆ 保護者の外出やリフレッシュ
 - ◆ 兄弟の行事の時の預かりなど
- 【送迎】保育施設・学校施設・習い事など(原則徒歩)
- 【沐浴】沐浴のお手伝いをします

出来ない援助

- ◆ 自家用車を使つての援助
- ◆ 病気のこどもの援助
- ◆ 家事援助

その他

- ◆ 幼児教育・保育無償化の実施に伴い対象となる方は、サービス内容により利用料が還付(無償化)されます
- ◆ 児童扶養手当受給者又はひとり親家庭等医療費受給者の方を対象に、利用料の一部が還付されます。(詳細は所沢市ホームページをご覧ください)

費用・報酬

平日: 7:00～19:00……………1時間700円
上記以外の時間……………1時間800円
土日・祝日・年末年始: 終日……………1時間800円

【問い合わせ】所沢市ファミリー・サポート・センター

住所: 所沢市緑町1-6プラザシティ新所沢けやき通り団地18号棟101号室
TEL: 04-2921-0070 FAX: 04-2921-0076
開所時間: 8:30～17:00(平日のみ)



社協の取り組みは地域のみなさまの協力によって成り立っています

社会福祉協議会(社協)とは

社会福祉法(第109条)のなかで、「地域福祉の推進を図ることを目的とする団体」として位置づけられており、誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくりを市民のみなさまと進めています。

社協の財源について

所沢社協を支える財源は、みなさまに納めていただく会費や寄付、共同募金(赤い羽根共同募金、歳末たすけあい募金)の配分金、委託事業の委託費、市からの補助金が基盤となっています。

社協会費

ふくし学習の支援や 備品の貸し出し

ボランティアセンターでは、ふくしの学びを深めるため、ふくし学習の授業の組み立てや、備品の貸し出しを行っています。



車いす貸出事業

無料で短期間の車いす貸し出しを行っています。所沢社協での貸し出しのほか、市内の店舗や事業所などにも協力をいただき、49か所で車いすちょい借りステーションを設置しています。



ボランティア・福祉情報の発信

メール・LINE配信によるボランティア情報掲載を行っています。多世代が気軽にボランティア情報を入手できます。



寄付

こどもの居場所づくり助成事業

みなさまからいただいた寄付による「こども未来基金」を活用し、こどもの居場所づくりを財政面から支援しています。



共同募金

地域福祉サポーター養成講座

地域における福祉課題の解決に向けて、関係者と連携を図りながら自発的な意思のもとに活動する地域福祉サポーターを養成しています。



応援します!

地域福祉活動助成事業

共同募金の配分金を活用し、地域福祉活動を財政面から支援しています。また、ボランティア団体の立ち上げや運営支援を行っています。



所沢市民フェスティバル「福祉コーナー」

福祉団体の活動を広く市民に紹介するとともに、市民との交流や団体同士の交流を通じて、福祉に対する理解と参加を促進することを目的として実施しています。



ありがとうございます!

今年度もたくさんの方から会費や共同募金、寄付へのご協力をいただいております。ありがとうございます。いただいた財源は、地域福祉の推進のために活用させていただきます。今後もぜひご理解、ご協力をお願いいたします。



『第5次地域福祉活動計画in所沢 ところWITHプラン』(素案)へのご意見(パブリックコメント)を募集します

所沢社協では市民、各種機関、団体等の参画により、令和3年度から令和8年度までの6年間を計画期間と定め、所沢市における地域福祉の推進を図るため「第5次地域福祉活動計画in所沢 ところWITHプラン」の策定作業を進めています。

市民の参加と協働による“ふくしのまちづくり”を進めていくためにも、是非、この機会にご意見をお寄せください。

- 1 応募期間 令和3年2月中旬(予定) ※詳しくはホームページをご覧ください
- 2 応募資格 市内在住・在勤・在学の方、市内に事業所または事業所を有する個人・法人・団体 など
- 3 応募方法 直接持参・郵送・FAX・メールのいずれかの方法で応募。
※直接持参の場合は、平日8:30~17:15まで。
- 4 記入内容 ①住所②氏名③年齢④性別⑤電話番号⑥意見(おおむね800字以内)

募集に関する詳細及び第5次地域福祉活動計画in所沢 ところWITHプラン(素案)等は、所沢社協窓口及び各まちづくりセンターのほか、所沢社協ホームページ(<http://www.toko-shakyo.or.jp/>)からダウンロードできます。

【応募・問い合わせ】地域福祉推進課

〒359-1112 所沢市泉町1861-1 所沢市こどもと福祉の未来館3階
TEL: 04-2925-0041 FAX: 04-2925-3419
メール: 0041m@toko-shakyo.or.jp

ぐっどふおとぐらむ

市内在住の川道さんは、日ごろから社協事業等にご参加をいただいております。普段から温かみのある写真を撮ったり、イラストの手描きをしたりしていると伺ったため、今回ご提供をいただきました。

川道さんからのメッセージ

東日本大震災で被災された方からの話や復興支援現場を見聞したり、原爆で被災された方から話を聞いたりするなかで、かなしいことが起こらないように、笑顔につながればいいなあ、という思いから、手描きのイラストを書き始めました。また、青空や光のある写真があると、こころの癒しにつながるのではないかと思います。写真も撮りつけていました。コロナ禍でも、ほっとする瞬間を持ってもらいたいです。

